



(3) 県負担・補助率の考え方

国庫補助金（医療提供体制推進事業費補助金）の活用

補助率：国 1/2、県 1/2

(4) 類似事業の有無

- ・ 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	32,153	医療提供体制推進事業費補助金
合計	32,153	

**決定額の考え方**

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

- ・ 県の財政負担なし

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
内視鏡手術訓練施設を整備し、腹腔鏡下における内視鏡手術に関する研修等を実施することにより、医師の手技向上及び医療の質の向上を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H )	(H )	(H )	(H )	(H )	%
	(H )	(H )	(H )	(H )	(H )	%

○指標を設定することができない場合の理由

医療機関の計画に基づく施設整備に対する補助であるため、目標の設定ができない。

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）  
前年度実績なし

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果  
前年度実績なし

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い	
(評価)  ○	内視鏡手術訓練施設の整備のため、必要な設備整備を行うものであり、事業の必要性が高いと言える。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価)  ○	整備を行うことで、内視鏡手術訓練施設の充実が図られ、医療の質の向上につながる。
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある	
(評価)  ○	内視鏡手術訓練施設としての機能を有する病院に対してのみ必要な設備の整備を行うものであり、効率化は図られている。

### (今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 整備した訓練施設を活用して効率的かつ効果的な研修を実施し、県内外科医師等の内視鏡手術の技術向上を図る必要がある。
---

### (次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後も内視鏡手術訓練施設の整備については、引き続き必要な補助を行っていく。
---